

歌えない時の賛美

—コロナ禍での礼拝賛美—



主の祝福がみなさまにありますように。

ワクチン接種も進み新型コロナウイルスの感染は減少しているものの、まだ元の生活に戻るのには難しい状態が続いています。埼玉地区の各教会においても、祈りつつそれぞれの状況に合った感染対策を施しながら礼拝を捧げていらっしゃると思います。礼拝賛美についても、リモートで一人で歌う、声を出さずに奏楽を聴く、周囲に気遣いながら小声で歌う、曲数、節を減らす、など今までとは違った捧げ方をされているようです。もう、久しく賛美を高らかに歌えていない方も多いことでしょう。聖歌隊の活動も制限せざるを得ません。また、礼拝を配信している教会では賛美歌の著作権も配慮する必要があります。これからの礼拝賛美はどうなっていくのでしょうか？

今回の講習会では東中野教会牧師の浦上充先生に礼拝学の視点から、コロナ禍の礼拝音楽について考えていらっしゃることを話していただきます。皆さんと一緒に、問題がどこにあるのか、どのように解決しているのか、考えを出し合っていきたいと考えています。

11月13日(土)14:00~16:00

(13:30 から入室できます)

Zoom によるオンライン集会

講師 **浦上 充 先生** (日本基督教団 東中野教会牧師)

参加無料 <事前のお申し込みが必要です>

□問い合わせ 電話：090-2764-3739 (吉田)
メール：shinsei89in@gmail.com (川口)
□主催 埼玉地区教会音楽委員会



<講師紹介>

浦上 充 (うらかみ みちる)

1984年愛媛県宇和島市生まれ。関西学院大学神学部、同大学大学院前期課程修了後、日本基督教団城之橋教会牧師を経て、現在、日本基督教団東中野教会牧師。日本基督教団讃美歌委員会委員。著書『信仰生活ガイド 使徒信条』(共著)、『礼拝と音楽』(日本キリスト教団出版局)等で連載中。その他、キリスト教音楽講習会や九州や北陸などにて礼拝や賛美歌についての講演を行っている。

日本基督教団 東中野教会 (西東京教区 中杉地区)

創立1910年。現在、現住陪餐会員158名の都市部の中規模教会。初代牧師であった由木 康、2代目の北村宗次以降、日本におけるプロテスタントの礼拝式文や賛美歌の創作や翻訳に力を入れてきた教会でもあります。

<申込み方法>

①参加申込みの電子メールを送る

宛先：**shinsei89in@gmail.com**



件名を「教会音楽オンライン講習会参加希望」として、本文にお名前・所属教会名を記入して

11月11日（木）までにお送りください。

教会をサテライト会場として多人数でご参加いただくこともできます。その場合は、代表者のお名前・教会名・およその参加人数を記入してお申込みください。

②各自PC・スマートフォン等でZoomが使えるようにご準備ください

PCに内臓カメラ・マイクがついていない場合は、別にご用意ください。

スマートフォンはあらかじめZoomアプリを入れておきます。

③招待メールを受け取る

Zoom ミーティングのIDが記載された招待メールを前日までにお送りします。

④講習会に参加する

当日 14:00 までに招待メールのURLをクリックするかID入力して入室してください。

途中からの参加も可能です。

<お願い>

予期せず機材トラブル、通信障害等により中継を中止することがあります。ご了承ください。

アーカイブ動画の配信はいたしません。